

草津あんしんいきいきプランにかかる

令和2年度 新規・拡大事業の予算について

この資料には、令和2年度の草津市の予算のうち、草津あんしんいきいきプランにかかる各種予算についてまとめております。

1～2ページは、それぞれの予算額・予算規模について、前年度当初予算額と比較いただきながら御確認いただきたいと思っております。

また、3ページから7ページは、令和2年度において、新たに実施、また事業内容を拡大して実施する事業のうち、草津あんしんいきいきプランに関係がある事業の個別の概要書です。

令和2年度は、これらの予算を用いて、各種事業に取り組んでまいります。

1. 令和2年度 会計別予算規模

(単位:千円 %)

会 計 名	令和2年度当初予算額			令和元年度当初予算額		増減額	
		構成比	対前年		構成比		
一 般 会 計	53,570,000	61.3	1.8	52,600,000	60.7	970,000	
特別会計	①介護保険事業特別会計	8,953,800	10.2	8.1	8,286,200	9.6	667,600
	その他の特別会計	24,838,100	28.5	△3.6	25,761,600	29.7	-923,500
A) 合 計	87,361,900	100	2.9	86,647,800	100	714,100	

2. 一般会計予算のうち高齢者福祉関連予算内訳

(単位:千円 %)

事 業 名	令和2年度当初予算額			令和元年度当初予算額		増減額
		構成比			構成比	
老人福祉施設措置費	74,749	4.09		74,517	4.11	232
老人福祉法施行事務費	409	0.02		333	0.02	76
老人福祉推進費	24,705	1.35		24,164	1.33	541
老人福祉センター等管理運営費	164,171	8.98		143,200	7.89	20,971
在日外国人老齢福祉金支給費	176	0.01		440	0.02	△ 264
在宅生活支援費	2,601	0.14		2,355	0.13	246
在宅介護支援費	9,637	0.53		9,991	0.55	△ 354
老人福祉施設整備費	0	0.00		123,830	6.82	△ 123,830
長寿祝金等支給費	5,622	0.31		18,582	1.02	△ 12,960
介護保険事業特別会計操出金	1,541,260	84.34		1,414,936	77.95	126,324
草津あんしんいきいきプラン推進費	3,961	0.22		2,486	0.15	1,475
介護保険適正利用促進費	81	0.01		77	0.01	4
② 合 計	1,827,372	100		1,815,160	100	12,212

3. 介護保険事業特別会計予算内訳

(単位:千円 %)

項 名	令和2年度当初予算額		令和元年度当初予算額		増減額
		構成比		構成比	
総務管理費	167,133	1.87	163,111	1.97	4,022
徴収費	12,391	0.14	17,115	0.21	△ 4,724
介護認定費	128,993	1.44	124,754	1.51	4,239
介護サービス等諸費	7,404,575	82.70	6,788,793	81.93	615,782
介護予防サービス等諸費	142,981	1.60	152,134	1.84	△ 9,153
その他諸費	8,178	0.09	7,837	0.09	341
高額介護サービス等費	259,282	2.90	205,705	2.48	53,577
特別給付費	75,631	0.84	74,723	0.90	908
特定入所者介護サービス等費	237,784	2.66	222,931	2.69	14,853
介護予防・日常生活支援総合事業費	239,891	2.68	242,945	2.93	△ 3,054
包括的支援事業・任意事業費	272,782	3.05	253,827	3.06	18,955
償還金及び還付加算金	3,001	0.03	3,001	0.04	0
基金積立金	178	0.00	28,324	0.34	△ 28,146
予備費	1,000	0.01	1,000	0.01	0
② 合 計	8,953,800	100	8,286,200	100	667,600

4. 一般会計および介護保険特別会計の合計予算

(単位:千円 %)

内 容	令和2年度当初予算額		令和元年度当初予算額	増減額
		対前年		
B) 合 計 (①+②)	10,781,172	6.7	10,101,360	679,812
構 成 比(B/A)	12.34		11.66	

高齢者福祉の充実

総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)



(単位:千円)

事業名	高齢者フレイル予防事業費			区分	拡大
令和2年度 事業費	担当部局・所属健康福祉部			長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,049				諸	7,045
					4

<事業の概要>

高齢化が急速に進行する中、健康寿命を伸ばし、各々が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らし続けるためには、介護予防や生活習慣病の疾病予防・重症化予防等への取組が重要です。このことから、高齢者の保健事業や介護予防事業の効果的かつ一体的な取組を進めるため、関係部局の連携体制を整えるとともに、企画調整担当職員を設置し、高齢者の健康づくりを一層推進します。また、フレイル予防の浸透を図るため、地域サロン等への専門職種の派遣や、高齢者の健康づくりへの関心や取組を広げるための健康教室を開催します。

【主な内容】

- ・介護予防拠点(ロクハ荘、なごみの郷)や商業施設でのフレイル予防教室の開催
- ・地域サロン等への専門職(管理栄養士・栄養士・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士)の派遣

※フレイルとは・・・身体機能や認知機能が低下して、虚弱となった高齢者のことで、要介護予備軍とされています。フレイル予防には各々に合わせた適切な対応と、より早期からの「栄養」「運動」「社会参加」の三位一体での包括的な取組が重要です。

<事業の目的・効果>

高齢者が抱える身体的脆弱性や慢性疾患、認知機能や社会的つながりの低下といった課題は相互に関係していることから、医療と介護の両方の視点から健康課題の分析を行い、高齢者の特性に合わせた保健事業と介護予防事業の一体的な展開により、高齢者の健康寿命の延伸につなげます。

	経費の内訳	
	企画調整担当職員人件費	5,310
	介護予防拠点等での健康教室開催費	938
	地域サロン等でのフレイル予防費	469
	その他事務費	332

高齢者福祉の充実

総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)



(単位:千円)

事業名	認知症施策推進費			区分	拡大
令和2年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,854	681	341	繰保	380 368	1,084

<事業の概要>
 本市では、認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で地域の一員として暮らし続けることができるまちを、すべての主体と相互に連携し実現するため、令和2年7月の施行を目指して「(仮称)草津市認知症があっても安心なまちづくり条例」の整備を進めています。
 令和2年度には、条例の制定を契機として、認知症の理解を深め、誰もが認知症を「我が事」と受け止め、認知症があっても安心して生活できるまちづくりに向けて、認知症シンポジウムを開催します。
 また、「草津市認知症施策アクション・プラン」の第3期計画の策定を行うとともに、認知症の人が日常生活における偶発の事故によって、家族等が損害賠償責任を負った場合に、補償を受けることができる認知症個人賠償責任保険事業(個人賠償:最大1億円)を実施します。

【主な内容】

- ・認知症シンポジウムの開催
- ・認知症個人賠償責任保険事業(草津市徘徊高齢者SOSネットワーク事業に登録している認知症高齢者等が対象)
- ・認知症施策推進会議の開催、認知症施策アクション・プラン第3期計画策定

【スケジュール】

令和2年7月 (仮称)草津市認知症があっても安心なまちづくり条例の施行
 認知症シンポジウムの開催
 認知症個人賠償責任保険事業開始

令和3年3月 認知症施策アクション・プラン第3期計画策定

<事業の目的・効果>
 条例の制定とアクション・プラン第3期計画の策定により、一人ひとりがいきいきと輝き、認知症があっても安心して暮らし続けることができるまちの実現を目指します。
 また、認知症の人およびその家族が地域で安心して生活できるよう、認知症個人賠償責任保険事業に登録いただくことで、外出時の不安を軽減します。



経費の内訳	
認知症個人賠償責任保険事業費	284
認知症シンポジウム開催費	800
認知症施策推進会議委員報酬 およびアクション・プラン策定費	860
その他事務費	910



高齢者福祉の充実

(単位:千円)

事業名	地域リハビリテーション活動支援事業費			区分	新規
令和2年度 事業費	担当部局・所属健康福祉部			長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
516	145	65		繰保介 75 92 139	

<事業の概要>

生活機能の低下により、日常生活の動作に支障がある人を対象に、リハビリテーション専門職が地域包括支援センターの職員やケアマネジャーと一緒に自宅を訪問し、専門的助言を行うことにより、対象者の状況に応じた短期集中予防サービス等の利用を促し、自立支援や重度化防止を図ります。

【主な内容】

リハビリテーション専門職の派遣

【主なスケジュール】

令和2年4月 委託業者との契約、事業開始

<事業の目的・効果>

リハビリテーションの視点を取り入れた効果的なアセスメントを行うとともに、介護予防サービスの利用にあたっての適切な目標の設定や本人への動機付けなどを行うことで、対象者の自立支援・重度化防止を促進します。



経費の内訳	
地域リハビリテーション活動支援 業務委託費	516



高齢者福祉の充実

(単位:千円)

事業名	在宅医療・介護連携推進事業費			区分	拡大
令和2年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,147	5,062	2,531	繰保	2,823	2,731

<事業の概要>

高齢化の進展に伴い、今後、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者(在宅療養者)の増加が見込まれています。そのため、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが必要とされています。本市では、在宅療養を支える地域医療資源のバックアップ体制や多職種連携体制を強化するため、草津栗東医師会との連携により地域医療支援病院に、連携推進拠点を新たに設置し、在宅医療・介護の多職種の一体的な提供体制の構築を図ります。

【主な内容】

- ・在宅医療・介護連携推進拠点の設置(在宅医療・介護連携支援コーディネータを配置)
- ・市民講座の開催および出前講座の実施

【スケジュール】

令和2年4月 在宅医療・介護連携推進拠点稼働開始

<事業の目的・効果>

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、在宅医療・介護の専門職の連携を推進するための拠点を設置し、医師や多職種の協力連携体制を強化することで、在宅医療・介護の一体的な提供体制の構築を目指します。

	経費の内訳	
	在宅医療・介護連携推進拠点	
	運営委託費	12,740
その他事務費		407



「安心」が得られるまちへ

(単位:千円)

事業名	地域支え合い運送支援事業費補助金			区分	拡大
令和2年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			健康福祉政策課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,381					2,381

<事業の概要>

通院や買い物、地域活動への参加が困難な高齢者や障害者等の外出を支援するため、学区のまちづくり協議会や社会福祉協議会などが主体となって取り組む地域住民の支え合いによる運送(送迎)事業を支援します。

平成26年度から志津南学区と山田学区で、さらに、平成29年度からは老上・老上西学区で実施されています。

令和2年度は、新たな学区で実施できるよう草津市社会福祉協議会と連携して地域の取組を支援します。

【事業の内容】

草津市社会福祉協議会を通じて、送迎車両の購入費等を支援します。

- ・事業主体 学区まちづくり協議会、学区社会福祉協議会
- ・運転手 地域のボランティア
- ・利用対象者 地域の高齢者や障害者等
- ・利用者負担 送迎に要した燃料費等の実費

【補助対象経費】

送迎車両購入費、その他費用(保険料等)、既存車両維持管理費

<事業の目的・効果>

社会とのつながりが希薄化している人や日常生活の支援が必要な人の外出を支援することで、閉じこもり予防や介護予防につなげるとともに、地域でのふれあいの場への参加を促すなど、地域が主体となって取り組む支え合い活動をサポートします。



経費の内訳

新規車両購入費等補助金	2,001
既存車両維持管理費補助金	380

